

誇りを持って臨む修・卒業式に

1週間後の3月23日(金)に平成29年度修了証書・卒業証書授与式を行います。今週から、全校生が参加して、式の練習が始まりました。当日は、1年生から6年生まで凜とした態度で臨んでくれるものと思っています。

学校にとって、修・卒業式は1年間の中での最大の行事です。卒業生にとっては、これまでの学校生活を締めくくり、成長した自分に誇りを持って巣立つ日。1～5年生にとっては、1年間の学びを締めくくり、次の学年へステップアップする日。職員にとっては、責任を持って卒業生を送り出す日です。ですから、この1年間の中での最高の姿を保護者の皆様や来賓の方々に見てほしいという気持ちを持っています。

児童・職員全員で力を合わせ、立派な式を行いたいと思います。

3/22 6年生、今年度最後のチャレンジ弁当です。

今年度、第三小学校では、5、6年生が「弁当チャレンジの日」に取り組んできました。これまで、5年生が4回、6年生が3回自分の力だけで弁当作りを体験しています。ご家族の皆さまには、「危ない」「失

食事を作ることのたいへんさがわかり、家族を有り難く思った人は、
優しい人です。
手順良くできた人は給料をもらえる仕事についてた時にも
仕事の段取りがいい人です。
食材がそろわなかったり、調理を失敗した時に献立の変更ができた人は、
工夫できる人です。
友達や家族の様子を見て、技を1つでも盗めた人は、
自ら学ぶ人です。
かすかな味の違いに調味料や隠し味を見抜いた人は、
自分の感性を磨ける人です。
旬の野菜や魚の色彩、香り、触感、味わいを楽しめた人は、
心豊かな人です。
一粒の米、一個の白菜、一本の大根の中にも「命」を感じた人は、
思いやりのある人です。
スーパーの棚に並んだ食材の値段や賞味期限や原材料や産地を確認できた人は、
賢い人です。
食材が弁当箱に納まるまでの道のりに、たくさんの働く人を思い描けた人は、
想像力のある人です。
自分の弁当を「美味しい」と感じ、「嬉しい」と思った人は、
幸せな人生が送れる人です。
シャケの切り身に、生きていた姿を想像して「ごめん」が言えた人は、
情け深い人です。
登下校の道すがら、稲や野菜が育っていくのを嬉しく感じた人は、
慈しむ心のある人です。
「あるもので作る」「できたものを食べる」ことができた人は、
たくましい人です。
「弁当チャレンジの日」で友達を見直した人は、
人と共に生きていける人です。
調理をしながら、トレイやパックのゴミの多さに驚いた人は、
社会をよくしていける人です。
中国野菜の値段の安さを不思議に思った人は、
世界をよくしていける人です。
自分が作った料理を喜んで食べる家族を見るのが好きな人は、
人に好かれる人です。
家族が手伝ってくれそうになるのを断れた人は、
独り立ちしていく力のある人です。
「いただきます」「ごちそうさま」が言えた人は、
感謝の気持ちを忘れない人です。
家族がそろって食事をするのを楽しいと感じた人は、
家族の愛に包まれた人です。

敗したら」と心配されるところもあったと思いますが、子どもたちは眠い目をこすりながらも、朝早起きをして一生懸命弁当作りに取り組んでくれました。

子どもたちには、自分で伸びようとする力が誰でも備わっています。すごいですね。一方、苦しかったと思いますが、大人にはじっと見守っていただきました。じっと見守ることができるとも大人の力だったと思います。

来週22日(木)が今年度最後のチャレンジ弁当として6年生が挑みます。卒業式の前日で何かとお忙しいと思いますが、どうぞ、あたたかく見守ってあげてください。

左の枠の文章は、弁当の日を提唱された竹下和男先生が、弁当の日を実践していた頃の卒業生に贈った卒業文集の原稿です。きつと今年5、6年生もこの原稿のように、成長してくれたと思います。1～4年生にも次年度以降、この原稿のような成長が見られることを期待しています。

2・3月の学校生活から



6年生卒業お茶会開催

2月26日（月）の3・4校時に、茶道宗偏琉の田部宗芳社中より4名の講師の方々においでいただき、6年生の卒業お茶会が行われました。茶道クラブに在籍していた原紅愛さん、新井田柚羽さん以外は、初めての体験でした。卒業を前にして、日本の伝統文化の1つである「和」の世界を味わうことができました。



鼓笛隊移杖式・授業参観・年度末懇談会

3月2日（金）に、授業参観・年度末懇談会を開催しました。授業参観前に体育館で鼓笛隊移杖式が行われました。主指揮担当の永山心優華さんから次年度主指揮担当の湯田翠さんへ指揮杖が引き継がれ、5年生が中心の鼓笛隊となりました。これまでがんばってきた6年生、本当にお疲れさまでした。1年生から5年生は、次年度に立派な演奏ができるようさらにがんばってほしいと思います。



6年生が謝恩会を開いてくれました

3月5日（月）の放課後、6年生が職員に対する謝恩会を開いてくれました。6年生10名と職員が理科・家庭科室の各テーブルに分かれ、お菓子を食べたり、ジュースを飲んだりしながらこれまでの学校生活の思い出などをクイズやパソコンの写真で振り返りました。卒業を控え、たくましくもあり、寂しくも感じた時間でした。



6年生を送る会が行われました

3月6日（火）3・4校時に6年生を送る会が行われました。会では、各学年の出し物（合唱、クイズ等）の発表、6年生一人一人への寄せ書きプレゼントが行われました。これまで最上級生として頑張ってくれた6年生へ感謝の気持ちをこめてどの学年も頑張っていました。

東日本大震災の学習を行いました。

3月9日（金）の朝の時間に、理科・家庭科室において、校長から全校生に東日本大震災について講話を行いました。

震災から丸7年が経過し、当時まだ生まれていなかった子どもたちも小学校に入学しています。

1年生には難しいとも思いましたが、震災当時の被災状況、現在も避難を余儀なくされている方の数、岩手県釜石市の中学生の当時の避難の様子を描いたビデオや小学生の作文などを紹介しました。「会津は震災関係ない」というわけにはいかないと考えます。今後も防災や日本の未来を考える観点から発達段階に応じて学習を深めていってほしいと思います。

